



1/12  
(水)

## 獅子島幼稚園で預かり保育始まる 子どもの安全を

獅子島幼稚園(川路勇策園長・27人)では、3学期から希望者を対象に預かり保育を開始しました。

初日の1月12日には先生に見守られながら、園児が元気に遊んでいました。

これは、同園の保護者や住民からの強い要望を受けて、園児の健全育成と保護者の子育て支援を目的に始めたものです。

保護者の小田恵津子さん(片側)は「これまではフェリーの時刻を気にしながら帰らないといけなかったが、時間を気にせず安心して仕事ができるよう

先生に見守られる園児たち



になった。子どもの安全が保たれるのでありがたい」と話しました。

預かり保育時間は、幼稚園終了からフェリーの到着に合わせた午後6時まで実施されます。

1/13  
(木)

## 鷹巣小がラグビーで活躍 みんなで協力してプレー

鷹巣小学校(田島正英校長・194人)が11月27日に行われた全国小学生ラグビー選手権大会鹿児島予選会で県代表として九州大会初出場を果たす活躍を見せました。

ラグビーとは、腰に付けた2本のタグを取ったり取られたりしながらボールを持って相手コートを目指す競技で、子どもでも安全に楽しめるスポーツです。

同小の中山大樹教頭が鹿児島県ラグビーフットボール協会に所属しており、2年前から大会に出場。3～6年生10人で構成されるチームは全員未経験者

活躍を見せた鷹巣小の子どもたち



ですが、放課後を利用して練習してきました。

1月16日の九州大会は新型コロナウイルス感染症の影響で出場を辞退しましたが、みんなで協力してプレーできたことは貴重な経験となりました。

1/13  
(木)

## ひまわり号の交通安全教室 自分の命を守ろう



交通ルールを学ぶ園児たち

1月13日、風の杜こども園(久保祐紀園長)で交通安全教育車による交通安全教室が開かれました。

当日は鹿児島県警察本部交通企画課職員2人が訪問し、園児120人が参加。腹話術を使って、交通事故や横断歩道の渡り方についての話がありました。

園児たちは事故にあわないための3つの約束を大きな声で読み上げるなど、自分の命を守る行動について仲良く学んでいました。

教室の最後には交通安全反射シールがプレゼントされ、園児たちは大喜びでした。